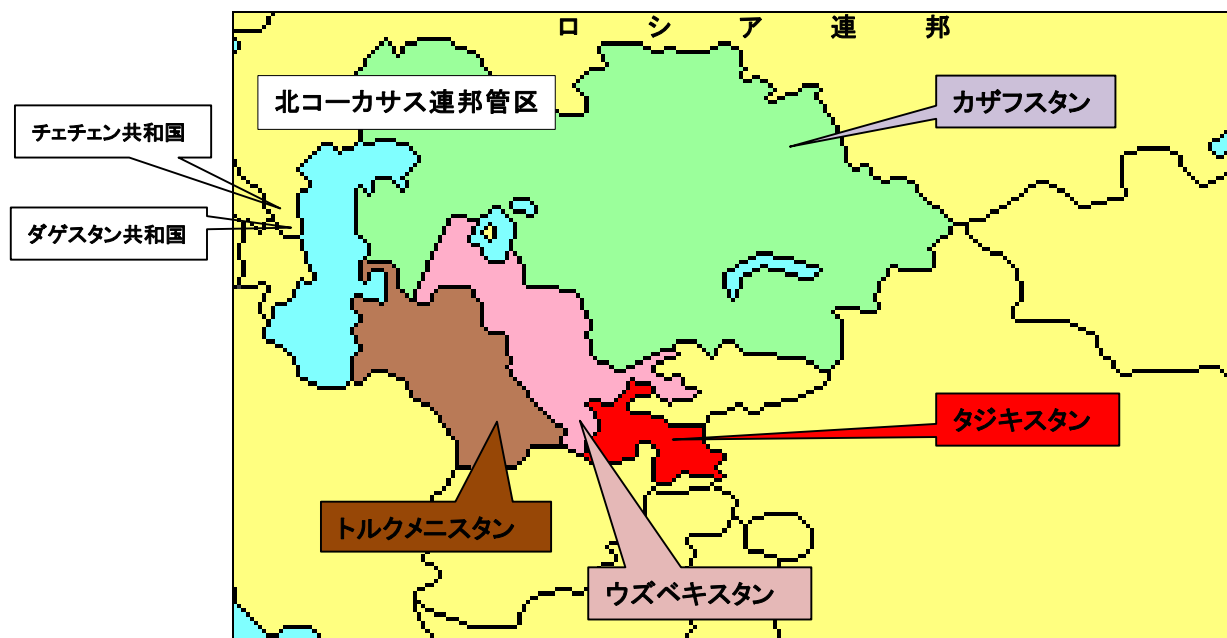


中央アジアおよびロシア連邦の北コーカサス 連邦管区でのポリオの流行状況

2010年11月13日 WHO情報



中央アジアと北コーカサスで起こっているポリオはさらに国際的に感染が拡大する可能性があります。

2010年8月12日、カザフスタンで分離されたウイルスの遺伝子配列の分析により、タジキスタンでの流行の原因となったウイルスがまだ循環していることが確認されました。このウイルスは、ロシア連邦やトルクメニスタンへその後拡がりました。もしかするとウズベキスタンにも拡がった可能性があります。また、9月25日ダゲスタン共和国で新たに1名が見つかったことは、ロシア連邦北コーカサス地区でも感染が続いていることを示しています。

中央アジアでのポリオ流行の中心地であるタジキスタンでは、これまで458名のポリオ野性株1型(WPV1)患者が報告されていますが、7月以降は数回にわたる集団ワクチン接種活動のため新たな患者は報告されていません。トルクメニスタンでは4回の集団ワクチン接種が行われ、7月28日以降患者の報告はありません。また、カザフスタンでは、8月12日7才の少年1名の患者が発生しただけです。ロシア連邦では、これまで14名が報告され、そのうちダゲスタンとチェチエンでそれぞれ3名発生しました。残りの8名は散発的輸入例です。ウズベキスタンからは患者発生は報告されていませんが、発生の可能性は否定できません。

WHOはポリオ流行国への渡航者に対して、ポリオワクチン(OPV)の接種を勧めています。過去に3回以上OPV接種している方は出発前に追加の1回を、過去にワクチンを接種していない方は全てのスケジュールを終了させてからの渡航を勧めています。